

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年11月の国内電気銅建値は下記の通りです。

11月	4日	～	750円/Kg
11月	9日	～	760円/Kg
11月	12日	～	770円/Kg
11月	17日	～	780円/kg
11月	24日	～	790円/kg
11月	26日	～	810円/kg

2020年11月度は平均で776.10円/kgとなり、前月比23.80円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

11月のLME銅相場 11/1～11/27 (安値ドル6,712.50～7,462.00 高値ドル)
11月のNYC銅相場 11/1～11/27 (安値セント307.25～339.95 高値セント)

11月度のLME現物は、11/1 \$6,712.50でスタート。月始まりの価格としては9月から引き続き\$6,000台後半の高い相場でのスタートとなった。中国経済の好調さから来るとされる銅需要への期待感なのか、米大統領バイデン氏への交代への期待感なのか、それとも一向に収まる気配の見えないコロナウイルスのワクチン開発への期待感なのか。先が見えない中での株価の上昇も含めて、希望を探すような銅相場がどこへ行くのか予測はつかない。高騰する銅相場の真の要因は中々見つけるのは難しいと思わざるを得ない。

LME在庫は前月からの動きと大きくは変わらず、15万t～18万tの間で推移。月末の11月27日にはついに\$7,500に迫る\$7,462を付ける勢いをみせた。

銅需給バランス…P社情報 2020年5月 資料より (単位/千トン)

	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	22,893	-2.7%	23,668	+2.7%	24,545	+3.7%
全世界地金消費	23,621	22,772	-3.6%	23,518	+2.3%	24,456	+4.0%
全世界需給バランス	-90	+121		+150		+89	

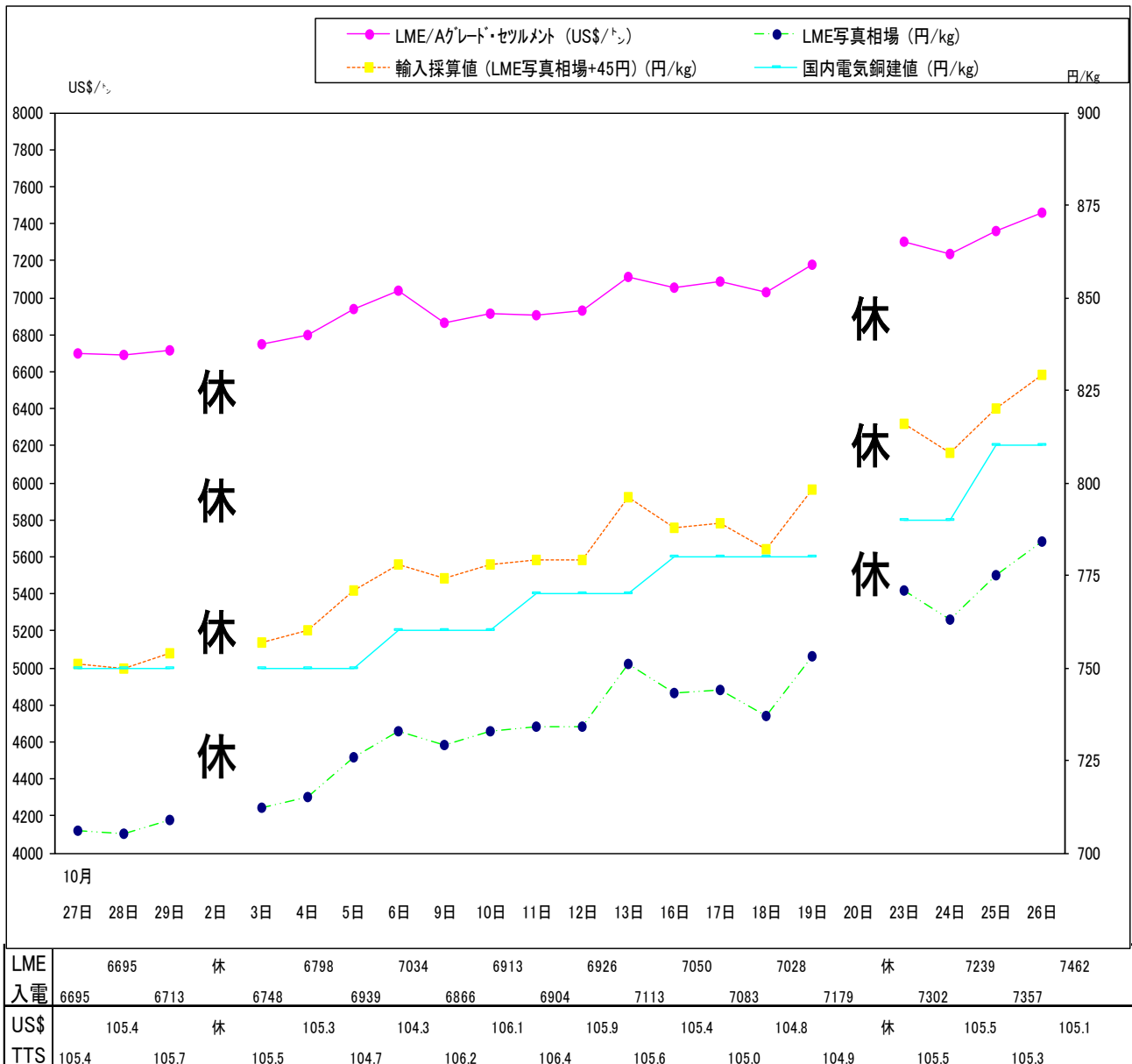
先行き短期見通

国内銅価

11月の国内建値は11月1日750円でスタート。その後も堅調に推移する動きとなり、9日に760円、12日に770円、17日780円、24日790円と確実に値上がりの動きとなり、月末26日にはついに810円/kgと800円を超える勢いとなった。

11/27付LME \$7,462.00、同為替(TTS) 1USD=105.15円で日本円換算計算値785円/kgに。20年12月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、820円/kgの予想です

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年11月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 11月 2日 ~ 316 円/kg
- 11月 6日 ~ 322 円/kg
- 11月 11日 ~ 331 円/kg
- 11月 16日 ~ 328 円/kg
- 11月 19日 ~ 340 円/kg
- 11月 25日 ~ 343 円/kg

平均330.70円/kg

2020年11月は上記の通りで前月比 21.70円/kgの 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	11月	258.90 円/kg	(前月比+ 5.50 円/kg)
電気錫 (相対)	11月	3,300.00 円/kg	(前月比- 20.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	11月市中価格	1,800.00 円/kg ~ 1,850.00 円/kg	
銀	10月平均	83,250.00 円/kg	(前月比- 6,690.00 円/kg)
	11月30日	76,610.00 円/kg	
金	10月平均	6,456.00 円/g	(前月比- 123.05 円/g)
	11月30日	5,980.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2020年10月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		9月度実績	10月度速報	前月比	前年10月度実績	前年同月比
銅	板	871	1,101	26.4%	1,539	-28.5%
	条	17,623	21,583	22.5%	21,064	2.5%
	管	6,769	8,278	22.3%	8,952	-7.5%
	棒	1,478	1,616	9.3%	2,202	-26.6%
	線	237	265	11.8%	267	-0.7%
黄銅	板	358	383	7.0%	587	-34.8%
	条	6,359	7,405	16.4%	7,675	-3.5%
	管	329	357	8.5%	529	-32.5%
	棒	11,768	13,279	12.8%	14,949	-11.2%
	線	1,546	1,697	9.8%	1,948	-12.9%
青銅	板	1,957	2,295	17.3%	2,266	1.3%
	条					
	棒	224	222	-0.9%	308	-27.9%
	線					
洋白・その他	板	380	433	13.9%	377	14.9%
	条					
	棒	287	375	30.7%	420	-10.7%
	線					
合計	50,186	59,289	18.1%	63,083	-6.0%	

10月の伸銅品生産速報は、59,289トンで前月比プラス9,103トン、前年同月比マイナス6.0%となり、前年同月比が23ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の8月分実績及び9月分推定によれば、8月分実績はコロナの影響が依然続き7部門中通信を除く6部門が前年同月を割り込み、総計は4万4千345tで前年同月比16.4%減と11ヶ月連続で前年割れ。今年5月に4万2千70t(同25.5%)と大幅に低下して以来、3ヵ月ぶりに4万台の低水準になった。また、4月以降二桁減が継続。

一方、9月分推定は、電気機械のみが1万1千700tで25ヵ月ぶりに増加に転じたが、他の6部門が前年を割り込み、総計は5万3千tで同12.5%減と12ヵ月連続で減少する見通し。コロナ禍により依然として厳しい情勢が続く。

8月分の部門別出荷をみると、通信はGIGAスクール向けLANケーブルが動いたため、前年同月比2.0%増と唯一プラスとなった。マイナスは6部門。電力は洋上風力発電向けは動いているが、張替え需要や保守メンテナンスは伸び悩み13.0%減少。電気機械はコロナに米中貿易摩擦が重なり同10.6%減少し、24ヵ月連続で前年割れ。自動車もメーカーの減産や販売不振で同15.6%減となり、5ヵ月連続で前年を下回った。建設電販は、市販ルートも電設ルートも伸び悩み同15.7%減少した。24、25年頃には首都圏再開発等の大型案件が控えているが、人手不足で作業効率が低下し、大型案件が踊り場に入った事で7ヶ月連続での下降。その他内需も民間企業の設備投資が鈍化し、同15.2%減で5ヵ月連続の前年割れ。輸出もコロナで54.3%の大幅減となった。

2020年8月分(実績)・2020年9月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	8月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	9月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	8月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	729	▼19.9	2.0	800	(9.7)	▼2.2	1,244	▼14.6	0.0
電力	(1,609)	(▼10.4)	(▼5.2)	(1,300)	(▼19.2)	(▼45.4)	(1,105)	(5.6)	(▼1.3)
	3,470	▼18.6	▼13.0	3,800	9.5	▼5.8	3,889	▼19.8	▼21.4
電気機械	(245)	(▼10.3)	(▼2.4)				(238)	(▼12.5)	(3.5)
	8,700	▼18.6	▼10.6	11,700	34.5	4.4	10,199	▼16.7	▼23.9
自動車	(169)	(▼1.7)	(28.0)				(597)	(▼4.6)	(36.3)
	5,406	▼14.6	▼15.6	7,600	40.6	▼6.5	26,077	▼17.2	▼12.1
建設・電販	(29)	(▼59.2)	(31.8)				(27)	(▼57.1)	(22.7)
	22,562	▼15.9	▼15.7	24,200	7.3	▼19.8	25,709	▼12.7	▼14.6
その他内需	(20)	(▼58.3)	(▼67.2)	(600)	(29.6)	(32.5)	(32)	(▼41.8)	(▼52.2)
	2,773	▼21.6	▼28.8	3,600	29.8	▼18.5	4,878	▼19.8	▼25.6
内需計	(2,072)	(▼12.2)	(▼4.2)	(1,900)	(▼8.3)	(▼33.0)	(1,999)	(▼3.1)	(6.6)
	43,640	▼17.0	▼15.2	51,700	18.5	▼12.0	71,995	▼15.9	▼16.2
輸出	(919)	(▼18.2)	(261.8)	(200)	(▼78.2)	(19900.0)	(482)	(▼17.9)	(251.8)
	705	▼24.2	▼54.3	1,300	84.4	▼27.4	3,367	▼12.0	▼33.8
合計	(2,991)	(▼14.1)	(23.7)	(2,100)	(▼29.8)	(▼26.0)	(2,481)	(▼6.3)	(23.2)
	44,345	▼17.1	▼16.4	53,000	19.5	▼12.5	75,362	▼15.7	▼17.2
心線販売	(322)	(▼41.8)	(▼19.5)	(400)	(24.2)	(▼20.2)	(72)	(▼40.0)	(▼25.0)
	16,572	▼22.9	▼31.9	22,400	35.2	▼24.4	11,365	▼18.7	▼32.0

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年8月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,167	▼1.2	▼9.4	2,054	8.0	▼31.0	
巻線	7,558	▼22.0	▼14.7	7,205	▼18.8	▼24.5	
機器用電線	2,509	▼13.9	▼16.6	7,325	▼17.0	▼16.3	
通信用電線・ケーブル	1,177	▼13.8	▼7.4	2,647	▼15.7	▼6.8	
電力用電線・ケーブル	17,091	▼17.6	▼19.7	16,996	▼16.9	▼22.9	
被覆線	8,595	▼17.3	▼14.2	12,136	▼13.8	▼14.0	
輸送用電線	4,248	▼18.1	▼16.5	26,998	▼16.0	▼12.1	
銅電線計	44,345	▼17.1	▼16.4	75,362	▼15.7	▼17.2	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	63	▼3.1	▼25.0	216	▼6.9	▼19.4
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,427	▼12.9	▼33.0	2,760	▼11.9	▼31.7
	計	2,494	▼12.7	▼32.8	2,993	▼11.9	▼30.9
アルミ電線計	2,991	▼14.1	23.7	2,481	▼6.3	23.2	
光製品	3,476,075	0.2	18.4	23,241	▼1.2	14.9	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,730	6.4	35.3	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、米大統領選挙でバイデン政権の誕生を見込み、米景気回復でリスク選好が強まり、ユーロ買いドル売りが優勢。加えて欧米株も上昇が続き、堅調な推移でのスタートとなった。第2週、中国の在庫減少が報じられ、加えて10月自動車販売台数が前年比12.5%増となりベースメタルの下値を支えた。新型コロナワクチン開発進展での楽観と欧米中心の感染再拡大で強弱材料入混じり\$20レンジでの動きとなる。米新規失業保険申請件数が前週から4.8万件減と3月来の低水準になった事で小幅に上昇。第3週、中国10月鉱工業生産は前年比6.9%増と予想を上回り、小売売上高も前年比4.3%増となり、中国经济回復への期待が高まったことから堅調に推移。また、ワクチン開発の大幅進展を示したファイザー社が臨床試験で有効性95%との最終結果を発表し下値を支えた。さらに英・EU通商交渉で合意に近づいたと報じられ、アルミは一時2年ぶりの\$2,000に届いた。第4週、米が中国航空宇宙分野など89社について軍の関連とし、米製品の購入制限を検討と報じられ、米中対立再開で人民元が後退しドル高となった。また、欧州主要国のPMIが50を割り込んだものも多く、ユーロ安で軟調に推移。米バイデン政権移行開始やワクチン関連のニュースを背景に高い水準を維持したが、米失業保険申請件数が二週連続増、入院患者死者数も高水準に達しているため、下押し材料に。上げ下げの要因が重なることもあり、当面は\$1,970前後プラスマイナス\$15の狭いレンジでの推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 10~11月積 2,065.00~2,072.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 10~11月積 229.60~230.40 円/kg
- ・NSP 2020年 9月 233.80 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 10月~12月 240.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'20年9月	'20年10月	'19年10月
月生産	*2,271.0	2,362.0	2,374.0
平均日産	*75.7	76.2	76.6

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

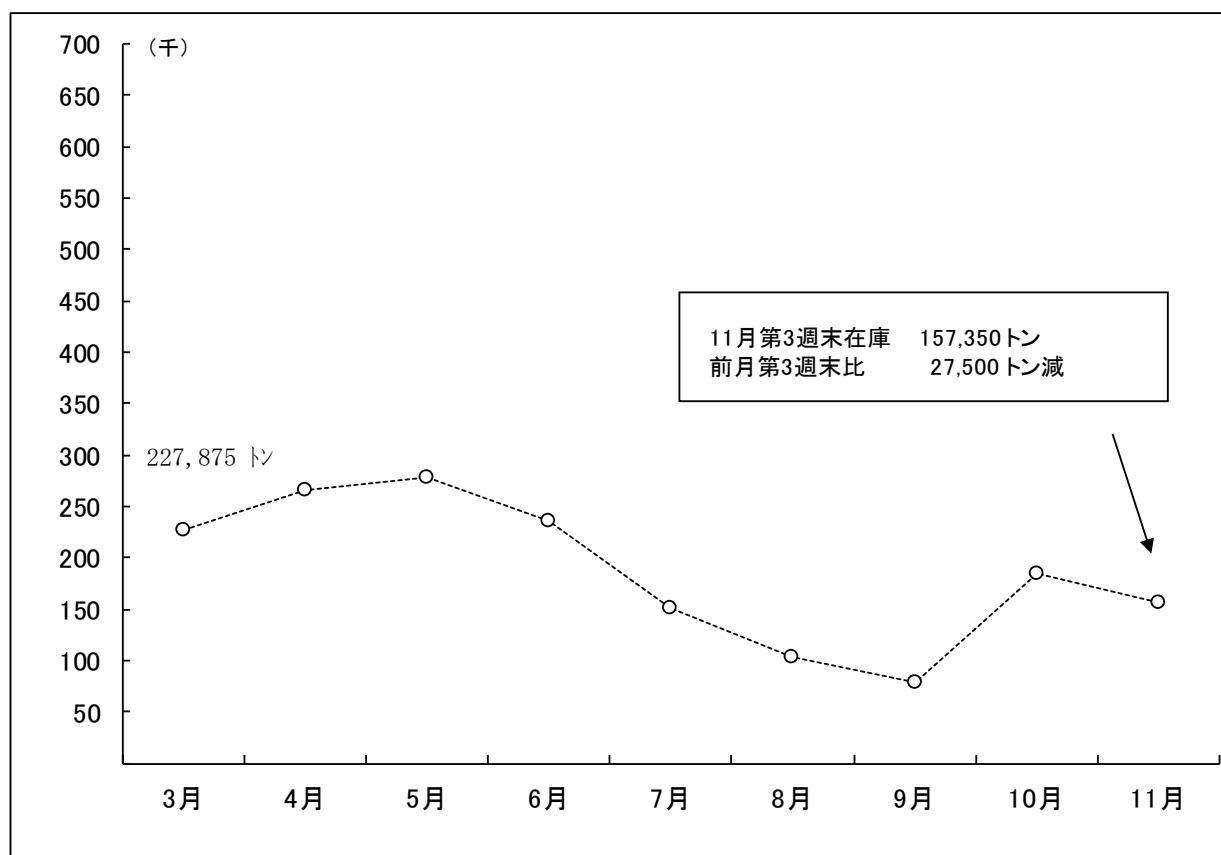
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年7月	2020年8月	増減	2019年8月	増減
横浜	168,200	167,100	-1,100	159,000	+8,100
名古屋	157,700	141,900	-15,800	152,100	-10,200
大阪	15,500	17,500	+2,500	15,000	+2,500
合計	341,400	326,500	-14,900	326,100	+400

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年11月20日現在 81,592 S T 前月比 3,413 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年8月末 113,188 トン 前月比 3,918 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年9月確報 50,186 トン
 ・20年10月速報 59,289 トン 前月比 119.5 %

◎ 電線出荷実績

・20年10月速報 56,000 トン 前月比 105.9 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 10月	板 類	98,892 トン	
	押 出 類	64,035 トン	
		<hr/>	
		162,927 トン	前月比 108.8 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。